

第1章 基本政策① みんなにやさしく誰もが幸せを感じるまち【福祉健康】

第2節 高齢者福祉

施策1 高齢者福祉の充実

基本計画
掲載頁

62～63

施策の 達成状況	B	A：順調に推移した B：おおむね順調に推移した C：進捗が遅れた	成果	市内の医療機関や介護事業所、高齢者相談センターなどの地域の関係機関等との連携により、高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう支援に努めるとともに、老人福祉センターや高齢者いきいき広場の運営、地域活動の周知などにより高齢者の社会参加や介護予防の促進を図った。 また、第8期介護保険事業計画に基づき、介護サービスの充実と基盤整備に努めた。
			課題	配食サービスの委託事業者の負担を減らすことができるような安否確認の方法や利用者負担額の見直しを検討するとともに、寝具乾燥サービスや高齢者おむつ等給付など、高齢者数の増加に伴い利用者の増加が見込まれることから持続可能なサービスとしていくための検討が必要である。 また、オンライン介護予防教室を見直し、介護予防教室の開催回数を増やして、より多くの市民が参加して介護予防に関する情報に触れるきっかけを作る必要がある。
今後の 方向性	II	I：現状のまま継続 II：一部見直し等の余地がある III：抜本的な見直し等が必要	成果・課題を踏まえた今後の取組方針	施策展開については、おおむね現状どおり進めていくが、今後も要介護認定者数の増加が予想されるため、介護予防や健康づくりに関する取組をより一層進めていく必要がある。 また、高齢者の権利擁護の推進のため、高齢者虐待の防止や成年後見制度の利用促進に引き続き取り組んでいく。

【参考】施策領域ごとのKPI※1（重要業績評価指標）

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和5年度時点 達成度※2	所管課
老人福祉センター利用者数	74,885人	115,453人					104,363人	A	長寿はつらつ課
要介護認定率	13.20%	13.96%					13.20%	C	介護保険課
高齢者相談センター（地域包括支援センター）利用件数	16,245件	15,154件					23,800件	C	介護保険課
成年後見制度利用件数	245件	237件					345件	C	成年後見制度推進室

※1 KPIは「施策」ではなく「施策領域」ごとに設定しているものです。

※2 【達成状況評価について】A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：やや遅れ気味

主な施策展開の進捗状況

(1) 地域包括ケアシステムの充実・推進と高齢者の権利擁護の推進	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○ 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活ができるよう、介護予防・介護度の重度化防止に向け、地域福祉活動との連携強化や保健・医療・福祉の連携強化に取り組み、高齢者相談センター（地域包括支援センター）を核とした包括的な地域ケア体制の更なる充実を進めます。	B（おおむね順調）	支援が必要な高齢者に対し、高齢者相談センターや居宅介護支援事業所等との連携を中心に、状況に応じて民生委員、医療機関等とも連携して支援を行い、住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう地域や関係機関の連携強化に取り組んだ。	いきいき健康部	長寿はつらつ課
	B（おおむね順調）	市内8か所の高齢者相談センターにおいて総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援の各業務を実施するとともに、地域包括ケアシステムの体制作りを推進することができた。高齢者相談センターでは、軽微な内容から緊急対応が必要な内容まで、多くの相談を受け対応している。高齢者相談センター利用件数については、これまで、軽微な相談の件数が一部含まれていたものを令和5年度から軽微な相談を計上しないこととしたため、件数が減少した。今後も高齢者相談センターをより多くの市民に知ってもらえるように出前介護相談の実施や広報等での周知に力を入れていく。	いきいき健康部	介護保険課
○ 医療と介護の両方を必要とする高齢者に、在宅医療と介護を一体的に提供することができるよう、関係機関との連携を推進します。	B（おおむね順調）	市内医療機関・介護事業所及び朝霞地区4市などとの間で意見交換や連携した取組を行い、医療と介護連携推進のための仕組みづくりを構築した。同時に市民への普及啓発にも注力した。朝霞地区4市共通の課題に対しては、朝霞地区4市合同で取組を実施するなど業務の効率化にも努め、医療機関及び介護事業所で普及が進んでいない低コストで実施可能なICTによる情報連携の仕組みの構築を行ったものの、普及率についてはより一層の増加に向けて検討・実施していく必要がある。	いきいき健康部	介護保険課
○ 認知症の予防から早期発見、意識啓発に取り組み、認知症の方や家族を地域全体で見守る地域づくりを推進します。また、認知症になっても本人の意思が尊重された生活を送ることができるよう、医療・介護・生活支援サービスが連携したネットワークを形成します。	B（おおむね順調）	地域共生のまちづくりのため、認知症カフェや地域の見守り体制の構築に寄与する認知症サポーター養成講座や見守り模擬訓練を実施した。また、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護を行う家族への支援サービスも継続して実施した。	いきいき健康部	介護保険課
○ 支援や介護を必要とする高齢者が安心して地域で暮らしていくことができるよう、日常生活自立支援事業の利用や成年後見制度の周知及び利用の促進に努めるとともに、権利擁護における相談の充実を図ります。また、高齢者虐待の防止や早期発見のため、地域における関係者のネットワークづくりを進めます。	B（おおむね順調）	高齢者相談センターや居宅介護支援事業所等と連携して高齢者支援を行い、権利擁護のための制度利用が必要と思われる高齢者に日常生活自立支援事業や成年後見制度の案内及び周知を積極的に行った。 高齢者虐待防止や早期発見のため、高齢者虐待防止ネットワーク研修会を開催し、居宅介護支援事業所のケアマネジャー、高齢者相談センター職員、庁内福祉部局職員が参加した。	いきいき健康部	長寿はつらつ課
	B（おおむね順調）	令和5年度に県から派遣されたアドバイザー3名と市で地域連携ネットワーク会議の開催に向けて意見交換会を実施した。意見交換会において、おおむねの地域連携ネットワーク会議の開催時期と今後も引き続きアドバイザーが協力していただける旨を確認することができた。地域連携ネットワークの構築については進めることができているものの、成年後見制度利用者数を増やしていくためには、制度を利用しやすい環境づくりの検討を進めるとともに、より一層の制度周知を推進していく必要がある。	いきいき健康部	成年後見制度推進室

第5次新座市総合計画前期基本計画 施策評価シート（対象：令和5年度実績）

(2) 高齢者の社会参加と健康づくりの推進		施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○	高齢者の生きがいや就労につながるよう、地域ボランティア活動などの機会の提供を進めるとともに、シルバー人材センターの機能の充実を積極的に支援し、高齢者が就労しやすい環境の整備を図ります。	B（おおむね順調）	運営費の一部について助成を行うことで、高齢者に働きがいと生きがいを与え、活力ある地域社会づくりに寄与することができた。	いきいき健康部	長寿はつらつ課
○	市内大学などとも連携しながら生涯学習・スポーツ活動や多様な交流活動の機会の充実に努めます。	B（おおむね順調）	高齢者の生きがいと社会参加を促進するため、老人福祉センターを3か所、高齢者いきいき広場を5か所設置し、高齢者の健康増進やレクリエーションを通じた仲間づくりの場を提供した。また、高齢者の仲間同士がクラブ活動を通じて生きがいと健康づくりを推進するため、老人クラブ活動を支援した。	いきいき健康部	長寿はつらつ課
		B（おおむね順調）	にいざプラスカレッジにいざサポートコース〈健康づくり〉を立教大学で開催し、にいざの元気推進員の養成を行った。会場提供だけでなく、講義には立教大学の教授・講師にご協力いただいた。	いきいき健康部	介護保険課
○	高齢者が主体的に社会参加に取り組み、社会的役割や生きがいを持つことが介護予防につながることから、高齢者自身が様々な担い手として地域で活躍できる仕組みの整備を進めます。	A（順調）	健康長寿ポイント等を利用して対象事業への参加を促し、社会参加に取り組むきっかけづくりを行った。また、介護予防ボランティアであるにいざの元気推進員の養成やフォローアップ講座等を行い、自主的に地域で活動できるようバックアップした。	いきいき健康部	介護保険課
○	高齢者の心身の健康保持を図るため、介護予防等自主的な取組を行う高齢者の通いの場を拡充するとともに、個人でもできるフレイル対策の取組を推進します。	A（順調）	市内65歳以上の高齢者世帯に地域活動マップや介護予防ガイドブックを郵送し、通いの場への参加等による社会参加の重要性及び健康づくりや介護予防に関する情報の普及啓発を実施した。また、ウォーキング教室や介護予防講演会などの実施や介護予防普及啓発冊子等の配布により、フレイル予防についての周知を行った。	いきいき健康部	介護保険課
○	高齢者を対象とする医療制度の円滑な運営に努めるとともに、予防医療の充実を図ります。	A（順調）	後期高齢者に対し健康診査と人間ドックを実施している。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施のポピュレーションアプローチにおいて、市民に対して、生活習慣病予防等の講話を行った。	いきいき健康部	長寿はつらつ課

第5次新座市総合計画前期基本計画 施策評価シート（対象：令和5年度実績）

(3) 介護サービスの充実と基盤の整備		施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○	介護保険事業計画に基づき、支援や介護を必要とする高齢者が安心して暮らしていくことができるよう、引き続き介護サービス基盤の整備や介護サービスの充実を図ります。	A（順調）	令和4年度に実施した調査を基に、令和6年度から8年度までを期間とする第9期新座市介護保険事業計画を策定した。この計画の内容に基づき、引き続き介護サービス基盤の整備や介護サービスの充実を図る。	いきいき健康部	介護保険課
	ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者に対するサービス充実のため、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護など、地域密着型サービスの充実に努めます。	A（順調）	令和3年度に地域密着型サービス事業者の公募を実施し、令和5年度に看護小規模多機能型居宅介護を整備した(5月開設)。また、令和4年度に公募を行い、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を整備した(10月開設)。	いきいき健康部	介護保険課
	介護老人福祉施設や介護老人保健施設を運営する事業者に対して支援を進めます。	A（順調）	市内の介護保険事業所等を対象に、高齢者虐待防止研修を実施した。また、制度改正やサービスについての情報提供を行うとともに、国や県で実施している介護人材の確保等の支援事業について周知し、活用を促した。	いきいき健康部	介護保険課